

コンクリートカヌー競技大会審査資料

代表者氏名	所属	艇の愛称
藤野 浩行	グループ HiRAC	Beton 1

注) 書式は自由とします。ただし、カヌーの寸法、使用材料（セメント系材料と補強材）、安全対策（浮力体、ブイの設置など）に関する記述をするとともに、カヌーの全体像がわかる写真を最低 1 枚貼付して下さい。

- 今回、初めてのコンクリートカヌーの制作及び大会への出場ということで、適切なサイズ及び形状が考えつかなかったことは否めない。

初めて制作するカヌーということで軽量化を重要視した。

我がチームは、生コンクリート工場の従業員で構成されているため、工場内の材料や廃材を用いて製作した。

○ カヌーの寸法

全長 3 m9 0 cm
 全幅（前 部） 3 2 cm
 （中央部） 6 0 cm
 （後 部） 4 2 cm
 高さ 3 4 cm

○ 型枠作成

カヌーの滑らかな曲線を描くため先端部分まで全て木製とした。骨組みには 1 辺 4 cm の角材を使用し、側面には厚さ 3 mm のベニヤ板を貼りつけ、モルタルとの剥離をよくするためビニールを貼り、その後金網を型枠に巻き付けた。

型枠の作成



○ 作製期間

作製にあたっては、メンバー全員が生コン工場の従業員であり、平日は業務がありなかなか時間がとれないため、土曜日に集まり作業を行った。

期間は試作 1 艇を含めて約 1 ヶ月半で作製を行った。

○ 使用材料

- ・セメント系材料
普通ポルトランドセメント
シリカフェーム
レックス1 2 0 0
膨張材
高性能 AE 減水剤



W/C 30% $w = 175 \text{ kg/m}^3$ (シリカ 5%置換)

- ・補強材
鉄筋 (5 mm)
金網 (目の開き1 . 5 cm)



○ 安全対策

浮力体としてカヌー船首・船尾部分に簡易断熱養生で使用する発泡スチロールを埋込み浮力体として使用し、ブイ（発泡スチロール）を付けたロープをフックに固定した。



モルタル打設状況



工場内スロープピットでの進水式

